



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 東プレ株式会社  
 コード番号 5975 URL <https://www.topre.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 内ヶ崎 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 野田 貴之

TEL 03-3271-0711

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	52,940	8.5	4,513	17.1	3,601	40.4	2,526	36.5
2019年3月期第1四半期	48,799	10.8	5,441	8.0	6,046	14.2	3,978	13.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,144百万円 (46.6%) 2019年3月期第1四半期 2,141百万円 (48.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	48.14	
2019年3月期第1四半期	75.81	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	262,047	159,280	56.7	2,832.72
2019年3月期	239,172	159,269	62.4	2,845.25

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 148,669百万円 2019年3月期 149,327百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		30.00		30.00	60.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	100,000	2.0	9,500	11.4	9,500	27.3	6,000	32.4	114.32
通期	220,000	9.3	20,000	0.2	21,000	3.2	14,000	8.9	266.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 3社 (社名) 三池工業株式会社、 広州三池汽車配件有限公司、 PT.Topre Indonesia Autoparts、 除外 - 社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	54,021,824 株	2019年3月期	54,021,824 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,538,788 株	2019年3月期	1,538,788 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	52,483,036 株	2019年3月期1Q	52,478,856 株

当社は、2017年3月期第2四半期会計期間より、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、主に自動車用プレス部品の好調により、売上高 529 億 4 千万円、前年同期比 41 億 4 千 1 百万円の増収 (8.5%増) となりました。しかしながら、自動車用プレス部品を中心に売上は増加したものの、主に海外拠点における売上原価の増加などにより、営業利益 45 億 1 千 3 百万円、前年同期比 9 億 2 千 8 百万円の減益 (17.1%減) となりました。経常利益は、主に為替差損により、36 億 1 百万円、前年同期比 24 億 4 千 5 百万円の減益 (40.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、25 億 2 千 6 百万円、前年同期比 14 億 5 千 1 百万円の減益 (36.5%減) となりました。

## ②事業セグメント別の状況

## &lt;プレス関連製品事業&gt;

自動車関連部門におきましては、2019 年 5 月に子会社化した三池工業株式会社の新規連結に伴う売上増加や、「Topre America Corporation」での物量増などにより、プレス関連製品事業全体での売上高は 398 億 2 千 5 百万円、前年同期比 63 億 8 千 8 百万円の増収 (19.1%増) となりました。しかしながら、金型製作の高負荷や新規立ち上がりに伴うコスト増を要因とする売上原価の増加により、セグメント利益 (営業利益) は、29 億 3 千 6 百万円、前年同期比 3 億 4 千 5 百万円の減益 (10.5%減) となりました。

## &lt;定温物流関連事業&gt;

冷凍車部門におきましては、中型車の需要が当初見通しを大きく下回ったことや、排ガス規制に対応した新シャーシへのモデルチェンジのタイミングなどにより、当社グループ全体での受注・生産は前年同期と比較して減少しました。これにより、定温物流関連事業全体での売上高は、108 億 6 千 7 百万円、前年同期比 20 億 3 千 6 百万円の減収 (15.8%減) となり、セグメント利益 (営業利益) は、13 億 3 千 5 百万円、前年同期比 4 億 9 千 4 百万円の減益 (27.0%減) となりました。

## &lt;その他&gt;

主に空調機器部門における個人住宅向け換気システムが売上を伸ばしたものの、前期において好調だったビル空調システムの売上は前年を下回りました。また、電子機器部門においては、キーボード「REALFORCE」は売上を伸ばしたものの、タッチパネルなどの企業向け製品は前年を下回りました。その結果、その他の事業全体での売上高は、22 億 4 千 7 百万円、前年同期比 2 億 1 千万円の減収 (8.6%減) となりました。セグメント利益 (営業利益) は、2 億 4 千万円、前年同期比 8 千 7 百万円の減益 (26.8%減) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、主に現金及び預金やたな卸資産の増加により、1,146億6千6百万円となりました。

固定資産では、主に機械装置及び運搬具や建設仮勘定の増加により、1,473億8千万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ228億7千4百万円増加の2,620億4千7百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に支払手形及び買掛金が増加したものの、未払法人税等の減少などにより、765億4千1百万円となりました。

固定負債では、長期借入金の増加等により、262億2千5百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ228億6千3百万円増加の1,027億6千6百万円となりました。

(純資産の部)

主に利益剰余金の増加や為替換算調整勘定の減少により、前連結会計年度末に比べ1千1百万円増加の1,592億8千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期および通期連結業績予想につきましては、2019年5月10日公表の予想値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,825	35,441
受取手形及び売掛金	47,052	43,606
有価証券	2,548	2,111
たな卸資産	19,629	26,829
その他	6,697	6,743
貸倒引当金	△46	△66
流動資産合計	101,707	114,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,434	35,600
機械装置及び運搬具(純額)	31,641	34,619
建設仮勘定	22,989	25,182
その他(純額)	24,201	25,346
有形固定資産合計	112,266	120,749
無形固定資産	1,619	3,182
投資その他の資産		
投資有価証券	21,775	21,110
その他	1,812	2,348
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	23,578	23,449
固定資産合計	137,465	147,380
資産合計	239,172	262,047

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,930	46,550
短期借入金	3,242	6,386
1年内返済予定の長期借入金	2,220	4,119
未払法人税等	3,609	577
賞与引当金	1,895	882
役員賞与引当金	77	18
製品保証引当金	139	132
その他	13,627	17,873
流動負債合計	67,742	76,541
固定負債		
長期借入金	6,273	19,538
長期末払金	88	45
繰延税金負債	3,703	4,081
P C B 処理引当金	104	104
役員株式給付引当金	62	66
役員退職慰労引当金	—	133
退職給付に係る負債	523	408
その他	1,404	1,847
固定負債合計	12,160	26,225
負債合計	79,903	102,766
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	8,251	8,251
利益剰余金	130,688	131,637
自己株式	△1,110	△1,110
株主資本合計	143,439	144,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,295	3,668
為替換算調整勘定	2,148	1,145
退職給付に係る調整累計額	△555	△532
その他の包括利益累計額合計	5,888	4,280
非支配株主持分	9,941	10,611
純資産合計	159,269	159,280
負債純資産合計	239,172	262,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	48,799	52,940
売上原価	40,157	44,765
売上総利益	8,641	8,175
販売費及び一般管理費	3,200	3,662
営業利益	5,441	4,513
営業外収益		
受取利息	51	67
受取配当金	227	236
固定資産賃貸料	27	29
為替差益	253	—
助成金収入	24	6
持分法による投資利益	50	25
その他	28	79
営業外収益合計	662	444
営業外費用		
支払利息	32	91
固定資産賃貸費用	4	3
為替差損	—	1,189
外国源泉税	14	14
その他	5	57
営業外費用合計	57	1,356
経常利益	6,046	3,601
特別利益		
固定資産売却益	11	6
投資有価証券売却益	30	—
負ののれん発生益	—	254
特別利益合計	42	260
特別損失		
固定資産除却損	16	76
減損損失	0	—
投資有価証券売却損	23	—
ゴルフ会員権評価損	12	—
特別損失合計	52	76
税金等調整前四半期純利益	6,036	3,785
法人税、住民税及び事業税	1,315	802
法人税等調整額	419	264
法人税等合計	1,734	1,066
四半期純利益	4,301	2,719
非支配株主に帰属する四半期純利益	323	192
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,978	2,526

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	4,301	2,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160	△637
為替換算調整勘定	△2,342	△1,003
退職給付に係る調整額	60	22
持分法適用会社に対する持分相当額	△39	43
その他の包括利益合計	△2,160	△1,575
四半期包括利益	2,141	1,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,826	921
非支配株主に係る四半期包括利益	314	222

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結累計期間において、当社の関係会社は連結子会社が5社、持分法適用関連会社が1社増加しました。新規設立のPT. Topre Indonesia Autoparts、株式を取得した三池工業株式会社を新たに連結子会社としました。また、三池工業株式会社の子会社である株式会社栃木三池、広州三池汽车配件有限公司、深圳三池汽车配件有限公司を連結子会社とし、関連会社であるAAPICO Mitsuike (Thailand) CO., Ltd. を当社の持分法適用関連会社としております。

この結果、2019年6月30日時点では、当社グループは連結子会社19社、非連結子会社5社、持分法適用関連会社2社により構成されております。

なお、新たに取得した関係会社はいずれもプレス関連製品事業セグメントに含めており、報告セグメントの区分についての変更はございません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、PT. Topre Indonesia Autoparts を新たに設立したことにより、連結の範囲に含めております。

また、三池工業株式会社の株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。これに伴い同社の子会社である株式会社栃木三池、広州三池汽车配件有限公司、深圳三池汽车配件有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、三池工業株式会社の株式取得により、同社の関連会社であるAAPICO Mitsuike (Thailand) CO., Ltd. を持分法の適用の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレス関連 製品事業	定温物流関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	33,437	12,904	46,341	2,457	48,799	-	48,799
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42	3	46	157	203	△203	-
計	33,480	12,907	46,387	2,615	49,002	△203	48,799
セグメント利益	3,282	1,830	5,112	328	5,441	-	5,441

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレス関連 製品事業	定温物流関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	39,825	10,867	50,692	2,247	52,940	-	52,940
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40	4	45	101	146	△146	-
計	39,865	10,872	50,738	2,349	53,087	△146	52,940
セグメント利益	2,936	1,335	4,272	240	4,513	-	4,513

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結会計期間において、三池工業株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益254百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益に計上しているため、セグメント利益には含めておりません。

## (重要な後発事象)

## 共通支配下の取引等

当社は、2019年7月12日開催の取締役会において、連結子会社であるトプレック株式会社の株式を追加取得し、当社グループ内の持分比率を100%に引き上げることを決議し、2019年7月31日付で株式を取得いたしました。

当該株式取得の概要は以下のとおりであります。

## (1) 取引の概要

## ①結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業	トプレック株式会社
事業の内容	冷凍・冷蔵車関連製品の販売

## ②企業結合日

2019年7月31日

## ③企業結合の法的形式

株式の取得

## ④結合後企業の名称

変更はありません。

## ⑤その他取引の概要に関する事項

当社はトプレック株式会社の株式の25%を追加取得し、持分比率は75%となります。また、トプレック株式会社は同社株式の25%を自己株式として新規取得することで、当社グループ内の持分比率は100%となります。

## (2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理を行います。

## (3) 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

## ①資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

## ②被支配株主との取引によって減少する資本剰余金の金額

算定中であります。